

安全指導のポイント

●のぼり棒

のぼっているお友だちの下には行かない！

上の横の棒にはぶら下がらない！

いきおいよく降りない！

前のお友だちと間をあけよう！

上にはのぼらない！

順番をまもろう！

遊んでるお友だちの下には入らない！

遊んでるお友だちのそばに行かない！

いきおいよく飛び降りない！

●鉄棒

鉄棒の上には立たないし座らない！

遊んでるお友だちのそばには行かない！

揺れているブランコの前後に入り込まない！

●ブランコ

物を持ったままのぼらない！

●ジャングルジム

危ないものを持ってのぼらない！

一番上で立たない！

高いところから飛び降りない！

●うんてい

ブランコから飛び降りない！

遊具で遊ぶことは、子供達の身体能力を向上させ、社会性や主体性、創造性を育みます。

また、挑戦や冒険をすることにより、危険を予測し、回避できる能力を養うための場でもあります。

遊具を、より有効に活用するためには、重篤な傷害を予防するための適切なメンテナンス（ハード面）を行うことと、危ない遊び方を理解し、遊び方のルールづくり（ソフト面）の両面が必要です。

このパンフレットでは、過去の事故データから得られた科学的知見をもとに、特に、重篤な傷害を予防するためのルール（ソフト面）を記載しています。

遊具での遊びが、子供達にとって「安全」を学ぶ「教育の場」となるように、ルールづくりの参考にして下さい。

下からのぼらない！

●滑り台

おり口の近くでは遊ばない！

こわれている遊具があったらすぐに大人に知らせよう！

順番をまもろう！

ルールを守って楽しく遊び、遊びを通じて心身の能力を高める！

■遊具ごとの指導上の留意点

小さな子どもたちほど、周りの状況をよく把握せずに自分の遊びに夢中になるため、他の子どもや遊具との衝突、遊具からの落下など、不注意から事故が発生する場合も多いものです。そのため、固定遊具で遊ばせる上で、遊具の安全点検とともに、子どもたちの発達や遊び方に応じた遊具ごとの安全指導が重要となります。